

6月の保健衛生業務

- 日本脳炎予防接種 満3歳以上
 - 6月2日(休) 午後1時30分～午後2時 小杉保育園 午後2時10分～午後2時40分 沢海保育園
 - 6月8日(休) 午後1時30分～午後2時10分 双葉保育園 午後2時20分～午後3時 中央保育園
 - 6月16日(休) 午後1時30分～午後2時 小杉保育園 午後2時10分～午後2時40分 沢海保育園
 - 6月23日(休) 午後1時30分～午後2時10分 双葉保育園 午後2時20分～午後3時 中央保育園
- 母親学級
 - 6月6日(休) 妊娠届のあった者 午後1時30分～午後3時30分 老人福祉センター
- 麻しん
 - 6月9日(休) 午後1時30分～午後2時30分(受付) 老人福祉センター 4年9月～12月生
- ツベルクリン反応検査
 - 6月13日(休) 午後1時30分～2時30分(受付) 老人福祉センター 5月で陽性者疑陽性者、未接種者も可
- ツベルクリン反応検査判定及びBCG
 - 6月15日(休) 午後1時30分～2時30分(受付) 老人福祉センター (ツベルクリン反応検査で陰性のもの BCG)
- 1歳6か月児健診
 - 6月27日(休) 午後1時～午後1時15分(受付) 老人福祉センター 4年11月・12月生 希望者には、フッ素塗布あり

■三種混合第I期③・II期

- 6月28日(休) 午後1時30分～午後2時30分(受付) 老人福祉センター 5年1月～3月生、3年2月～12月生
- 乳児健診
 - 6月29日(休) 午後1時～午後1時30分(受付) 老人福祉センター 5年9月・6年2月生

うぶごえ (4月届)

| 新生児名 | 保護者名 | 地区 |
|---------|-------|------|
| (3月生まれ) | | |
| 春香 | 渡邊 和洋 | 横越中 |
| (4月生まれ) | | |
| 拓美 | 松原 照一 | 横越下 |
| 美紀 | 杵鞭 弘 | 川根谷内 |
| 丈 | 川崎 昌浩 | 川根谷内 |
| 巧 | 小嶋 輝彦 | 小杉下 |

およろこび (4月届)

| 新 郎 | 新 婦 | 地区 |
|-----|-----|------|
| 村 木 | 芳 孝 | 二本木下 |
| | う め | |
| 山 田 | 正 行 | 木津中 |
| | 留 美 | |
| 茂 野 | 直 樹 | 川根谷内 |
| | 小 百 | |
| 長 瀬 | 玲 子 | 小杉上 |
| | 将 樹 | |
| 田 代 | 由 里 | 沢海上 |
| | 喜 一 | |
| 江 口 | 礼 郎 | 木津下 |

おくやみ (4月届)

| 故 人 | 年 齢 | 地区 |
|-------|-----|------|
| 佐藤 壽彦 | 58 | 川根谷内 |
| 齋藤 榮吉 | 89 | 焼 山 |
| 内山 平一 | 84 | 木津下 |
| 阿部美佐雄 | 85 | 小杉中 |

※掲載を希望されない方は、届け出の際に、住民課窓口までお申し出ください。

人口のうごき

(6年4月末日現在)

(増減)

総人口 9,910人 (+45)

うち { 男 4,818人 (+19)
女 5,092人 (+26)

4月のうごき { 出生5人 死亡4人
転入78人 転出33人

※人口実態調査による削除 1人

交通事故発生件数

(平成6年4月末)

| | 発生件数 (件) | | | 死者数 (人) | | | 傷者数 (人) | | |
|-----|----------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|
| | 4月 | 累計 | 前年比 | 4月 | 累計 | 前年比 | 4月 | 累計 | 前年比 |
| 横越村 | 5 | 15 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 26 | 11 |

竹と遊ぶ

方まぎ (2)

志田さんは竹工芸の名人だ。竹林に囲まれた環境に育ったこともあり、小さい頃から自分の遊び道具は、竹とんぼ、竹スキー、竹げたと何でも自分で作ったものだ。また家の副業として割り箸を作りやっています、竹の扱い方は

志田さんは竹工芸の名人だ。竹林に囲まれた環境に育ったこともあり、小さい頃から自分の遊び道具は、竹とんぼ、竹スキー、竹げたと何でも自分で作ったものだ。また家の副業として割り箸を作りやっています、竹の扱い方は

習うともなく覚えた。

竹工芸を本格的に習い始めたのは58才の時だ。地元の人からクラブを対象にして竹工芸教室が、県の工業技術センターから講師を招いて開催されたが、その際特別に入れてもらったという。生来の素質と努力により見るうちに技術も向上し、

習うともなく覚えた。竹工芸を本格的に習い始めたのは58才の時だ。地元の人からクラブを対象にして竹工芸教室が、県の工業技術センターから講師を招いて開催されたが、その際特別に入れてもらったという。生来の素質と努力により見るうちに技術も向上し、

駒込 志田 清一郎さん(71)

今では本職顔負けだ。

作品の種類も豊富で、花入れ、茶碗、急須、大きなものは衝立、テーブル、茶だんすまで作ってしまおう。竹を上手に仕上げるためには、あせらず少しづつ丹念に削るのがコツだ。茶だんすを作った際には半年かかったという。

今では本職顔負けだ。作品の種類も豊富で、花入れ、茶碗、急須、大きなものは衝立、テーブル、茶だんすまで作ってしまおう。竹を上手に仕上げるためには、あせらず少しづつ丹念に削るのがコツだ。茶だんすを作った際には半年かかったという。



お気に入りの花入れの前で

実に根気の要る作業だが、志田さんは「退屈しなくていい」とこともなげに言う。

竹工芸で一番の苦勞するのは材料探し、気に入った竹を求めて村じゅうを巡って歩く。人に作品を頼まれることも多いが、気に入った材料が見つからないため注文されてから2・3年かかることもあるそうだ。

竹工芸のほかにも、趣味特技は多く、特に若い時に習ったマッサージは玄人はだした。

竹工芸のほかにも、趣味特技は多く、特に若い時に習ったマッサージは玄人はだした。

今月の表紙

春、色とりどりの花が咲き誇る頃、農家はいいよき農作業本番を迎えます。

家族や親せき給出の花粉付作業。楊貴妃の美しさにたとえられる梨の花ですが、優雅に楽しんでばかりはいられません。

撮影者は新潟市の佐々木進さんで、第四回横越村の景観再発見事業の農協組合長賞受賞作品です。